

CN ニュース (がん化学療法看護)

抗がん剤点滴投与時の曝露対策

抗がん剤は、薬剤を取り扱う私たち医療スタッフの健康に影響します。「抗がん剤は怖い」というイメージをもっている人もいると思いますが、リスクを理解し、適切な取り扱いを実践することで職業曝露は予防することができます。昨年秋から、投与時の曝露対策を強化するため、抗がん剤専用輸液セット「ネオシールド」を導入し、より安全に抗がん剤投与ができるようになりました。

良い道具を使っても使いかたを間違えると曝露の危険があります。今回のCNニュースでは、ネオシールドの使用方法と抗がん剤点滴投与時の曝露対策についてふりかえってみましょう。

POINT 1

点滴交換時は个人防护具を使用する

ネオシールドを使う場合でも个人防护具を使用してください。
アダプタが外れてしまった場合などの不意の曝露に備えましょう。



フェイスシールドマスク
(またはサージカルマスクとアイガード)
ニトリル手袋
袖付きプラスチックガウン

POINT 2

抗がん剤点滴投与は専用のネオシールド輸液セットを使用する

ネオシールド使用時はすべての点滴ボトルに専用バッグアダプタを取り付けてください。

抗がん剤ボトルには薬剤部で取り付けて払い出されます。
前投薬など抗がん剤以外のボトルには病棟で取り付けてください。

「ネオシールド輸液セット」には
フィルター付き、フィルターなしの2種類があり
どちらもJMS輸液ポンプ使用が可能です。



L型コネクタは
絶対に
抜かないで！

POINT 3

ボトルは点滴スタンドから 下ろして交換する

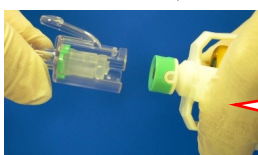
个人防护具を装着して交換しましょう

***顔より下で**

***ボトルを下向きに**

(ボトルの口を上に向けて)

スタンドにかけたまま交換
すると、アダプタが外れて
しまった場合などに、
抗がん剤が顔にかかる危険があります



カチッと接続

POINT 4

鋭利物廃棄容器に捨てる

廃棄容器まで
持ち運ぶときは
ビニール袋に入れる

使用した防護具も
ここに廃棄



バッグアダプタ・L型コネクタは、外さず
そのまま鋭利物廃棄容器に捨ててください

4つのポイントを確認し、安全に投与できるようにしましょう